

2 初期消火訓練

消火器の使用方法や消火技術を身につけます。隣近所の人同士でバケツリレーや消火器による消火活動ができる体制をつくります。

(1) 119番通報訓練

火災などを発見した場合は、次の手順で119番通報する。

ア 「火災」か「救急」か

イ 「場所」「建物名称や目標物」

ウ 火災の場合は、「何が燃えているのか」「逃げ遅れはあるか（ないか）」、
救急の場合は、「何がどうしたか」

※訓練日時について事前に消防署と相談してください。また、市防災訓練の日などは避けてください。

(2) 粉末（水）消火器による消火訓練

ア 指導者（消防署員や消防団）から、消火器の使用方法や使用上の注意点の説明を受ける。

イ 指導者は、準備しておいた燃焼物（オイルパン、灯油等）に着火し模造火災を発生させる。

ウ 消火器で模造火災を消火する。

エ 訓練が終わったら、オイルパンの中の汚水を処理し後始末をする。

(3) バケツリレーによる消火訓練

ア 指導者から、バケツリレーの注意点について説明を受け、10～20名程度のグループを作る。

イ 消防用水利は、防火水槽や用水など地域の中で利用できる水利とする。

